



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 帝国繊維株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3302 URL <http://www.teisen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白岩 強
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 岡村 建 TEL 03 (3281) 3022
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	20,480	22.7	2,923	20.6	3,281	20.4	2,280	24.9
2019年12月期第2四半期	16,697	△8.6	2,424	△31.2	2,725	△28.3	1,825	△29.2

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △1,633百万円 (ー%) 2019年12月期第2四半期 391百万円 (△70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	86.62	84.85
2019年12月期第2四半期	69.49	68.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	64,130	52,498	80.7	1,960.50
2019年12月期	72,479	55,157	75.1	2,070.68

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 51,778百万円 2019年12月期 54,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△9.6	3,700	△34.1	4,200	△32.2	2,900	△31.9	110.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	27,354,400株	2019年12月期	27,218,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	943,425株	2019年12月期	943,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	26,327,283株	2019年12月期 2 Q	26,275,253株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続くと見られていたものの、新型コロナウイルス感染が急速に拡大し、それに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、個人消費や輸出、生産の減少に加え、雇用情勢や設備投資も弱含みになる等、極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後も依然として先行き不透明かつ深刻な状況が続いております。

防災事業の分野では、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、多くの人命が奪われており、パンデミックへの備えは、人類が取り組むべき永続的なテーマであることが改めて認識されています。また、7月に入り、線状降水帯による集中豪雨により、熊本県を中心とした九州や中部地方に甚大な洪水被害が発生しました。急激な気候条件の変化を背景に、毎年のように繰り返される豪雨や暴風は、河川の氾濫や土砂災害などにより、国民生活、企業活動に大きな混乱を生じさせています。また、首都直下地震、南海トラフ地震による脅威もますます高まっています。さらに、世界各地で発生するテロにより多くの人命が奪われるなど特殊災害のリスクが世界的な広がりを見せており、多様化・多発化・激甚化する災害に対する官民挙げての防災体制の確立がますます重要となっております。

繊維事業の分野では、リネン(麻)につきましては、リネンそのものの再評価が進む中、麻素材の市場定着が進んでまいりましたが、新型コロナウイルスの影響から市場は収縮しており、売上は減少しています。一方、耐熱、耐切削、高強力など優れた機能の特徴とする高機能繊維につきましては、防護服分野を中心に新規商材の開発が進展しつつあります。

2020年度よりスタートした第五次中期経営計画「帝国繊維(テイセン)2022」では、スーパー台風や記録的な大雨による洪水や高潮による被害が急激に増大していることを踏まえ、大量送排水システム(ハイドロサブシステム)の拡販による、水害対策への貢献を通じ、優れた商材と強力な営業力(体制)で、新たな市場の開拓とビジネスの確立を目指します。セキュリティビジネスにおいては、大きく発展した空港向けセキュリティビジネスを足掛かりとして、その先にある膨大な市場ポテンシャルを掘り起こし、新たなフロンティアを切り拓いてまいります。一方、多様化・多発化・激甚化する災害に備えるための消防・企業の防災対応力強化、生産体制の刷新にも取り組み、消防用ホースをはじめ革新的な防災特殊車両などの開発とその拡販をもって、消防防災・産業防災の装備刷新・充実に貢献してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は204億8千万円(前年同期比22.7%増)、営業利益は29億2千3百万円(前年同期比20.6%増)、経常利益は32億8千1百万円(前年同期比20.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億8千万円(前年同期比24.9%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

防災事業では、救助工作車、空港用化学消防車が引続き堅調に推移していることに加えて、コンビナートなど大手民間企業向け大型防災資機材及び空港向けセキュリティ機材が売上を伸ばしたことから、売上高で160億8千2百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

繊維事業では、前期減少した官公庁向け繊維資材の売上が回復したことから、売上高は41億1千3百万円(前年同期比33.1%増)となりました。

不動産賃貸事業・その他は、概ね順調に推移しており、売上高は2億8千4百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

当第2四半期累計期間では、新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であります。今後共、経済動向やサプライチェーンへの影響等も含め動向を注視しつつ、「帝国繊維(テイセン)2022」で掲げた先進的防災事業の確立・発展を通じ、収益力の持続的拡大と企業価値の向上への取り組みに鋭意注力してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が83億4千8百万円減少し、641億3千万円となりました。

これは主として、現金及び預金が増加した一方で、売上債権の減少、たな卸資産や保有上場株式の含み益の減少などがあったことによるものです。

負債は、仕入債務や繰延税金負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ56億8千9百万円減少し、116億3千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加した一方で、保有上場株式の含み益の減少などがあり、前連結会計年度末と比べ26億5千8百万円減少し、524億9千8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は80.7%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、61億3百万円増加し、172億6千7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動による資金の収入は、前年同期に比べ法人税等の支払額が増加した一方で、税金等調整前四半期純利益や売上債権の回収の増加、たな卸資産の減少などにより、前年同期に比べ45億2千3百万円増加し、99億6千万円となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動による資金の支出は、譲渡性預金での運用や有形固定資産の取得などにより、26億4千万円（前年同期は12億8千万円の資金の収入）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動による資金の支出は、配当金の支払や長期借入金の返済などがあり、前年同期と同水準の12億1千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2020年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,766,184	15,370,156
受取手形及び売掛金	12,219,143	3,428,618
有価証券	12,349,990	12,349,989
商品及び製品	6,151,492	3,919,829
仕掛品	1,341,231	1,083,570
原材料及び貯蔵品	672,739	668,440
その他	373,739	473,456
流動資産合計	41,874,521	37,294,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,586,036	2,495,201
機械装置及び運搬具(純額)	316,764	271,389
工具、器具及び備品(純額)	277,716	256,995
土地	1,700,118	3,463,735
建設仮勘定	99,268	143,339
有形固定資産合計	4,979,905	6,630,660
無形固定資産		
投資その他の資産	276,895	280,958
投資有価証券	25,015,693	19,592,635
退職給付に係る資産	52,336	35,341
繰延税金資産	72,984	107,594
その他	210,195	192,640
貸倒引当金	△3,159	△3,159
投資その他の資産合計	25,348,049	19,925,052
固定資産合計	30,604,850	26,836,672
資産合計	72,479,372	64,130,734

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,685,802	2,850,918
1年内返済予定の長期借入金	78,600	40,000
未払法人税等	1,357,544	870,323
役員賞与引当金	11,000	2,000
役員退職慰労引当金	300,000	—
その他	1,754,667	1,397,193
流動負債合計	9,187,615	5,160,435
固定負債		
長期預り保証金	719,594	688,816
繰延税金負債	7,169,128	5,572,586
退職給付に係る負債	96,572	101,322
資産除去債務	30,376	30,376
長期未払金	118,690	78,650
固定負債合計	8,134,360	6,471,751
負債合計	17,321,975	11,632,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,444,090	1,538,002
資本剰余金	818,495	912,407
利益剰余金	35,660,983	36,759,059
自己株式	△377,096	△377,096
株主資本合計	37,546,472	38,832,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,842,566	12,937,211
繰延ヘッジ損益	17,946	9,241
その他の包括利益累計額合計	16,860,513	12,946,452
新株予約権	750,411	719,722
純資産合計	55,157,396	52,498,546
負債純資産合計	72,479,372	64,130,734

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
売上高	16,697,692	20,480,020
売上原価	11,988,643	15,308,450
売上総利益	4,709,049	5,171,569
販売費及び一般管理費	2,284,676	2,247,835
営業利益	2,424,373	2,923,734
営業外収益		
受取利息	165	267
受取配当金	276,427	344,228
持分法による投資利益	541	91
その他	28,157	16,323
営業外収益合計	305,292	360,911
営業外費用		
支払利息	1,987	1,539
為替差損	—	134
保険解約損	2,374	1,036
その他	157	150
営業外費用合計	4,519	2,860
経常利益	2,725,145	3,281,785
特別利益		
固定資産売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
固定資産処分損	35	21,319
特別損失合計	35	21,319
税金等調整前四半期純利益	2,725,110	3,260,476
法人税、住民税及び事業税	984,364	891,042
法人税等調整額	△85,157	88,984
法人税等合計	899,207	980,026
四半期純利益	1,825,903	2,280,449
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,825,903	2,280,449

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	1,825,903	2,280,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,436,528	△3,905,355
繰延ヘッジ損益	2,045	△8,705
その他の包括利益合計	△1,434,483	△3,914,060
四半期包括利益	391,420	△1,633,611
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	391,420	△1,633,611

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,725,110	3,260,476
減価償却費	197,766	180,465
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△674	—
受取利息及び受取配当金	△276,593	△344,496
支払利息	1,987	1,539
持分法による投資損益(△は益)	△541	△91
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△9,000
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△5,108	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	15,177	16,994
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,206	4,750
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△300,000
株式報酬費用	201,000	157,000
固定資産処分損益(△は益)	35	21,309
売上債権の増減額(△は増加)	4,201,269	8,643,986
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,091,201	2,493,623
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,504,282	△2,845,549
預り保証金の増減額(△は減少)	13,180	△30,796
長期未払金の増減額(△は減少)	△2,400	△40,040
その他の流動資産の増減額(△は増加)	55,197	△117,513
その他の流動負債の増減額(△は減少)	312,323	△130,196
その他	621	19,359
小計	6,012,063	10,981,820
利息及び配当金の受取額	276,566	344,473
利息の支払額	△2,326	△1,544
法人税等の支払額	△849,567	△1,364,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,436,735	9,960,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,603,077	△1,603,077
定期預金の払戻による収入	1,603,077	1,603,077
有価証券の取得による支出	△8,849,979	△9,349,979
有価証券の償還による収入	10,450,000	8,850,000
有形固定資産の取得による支出	△238,028	△1,835,088
有形固定資産の売却による収入	—	10
有形固定資産の除却による支出	△143,000	△310
無形固定資産の取得による支出	△94,585	△101,972
投資有価証券の取得による支出	—	△198,499
貸付けによる支出	—	△5,000
貸付金の回収による収入	30	30
敷金及び保証金の回収による収入	199,024	—
資産除去債務の履行による支出	△43,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,280,460	△2,640,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	720,000	720,000
短期借入金の返済による支出	△720,000	△720,000
長期借入金の返済による支出	△38,600	△38,600
株式の発行による収入	—	136
自己株式の取得による支出	△288	—
配当金の支払額	△1,046,133	△1,176,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,085,021	△1,215,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,632,174	6,103,971
現金及び現金同等物の期首残高	8,911,225	11,163,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,543,400	17,267,078

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	13,333,956	3,090,228	254,770	18,737	16,697,692	—	16,697,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	682	13,236	5,640	—	19,558	△19,558	—
計	13,334,638	3,103,464	260,410	18,737	16,717,251	△19,558	16,697,692
セグメント利益	2,747,631	312,852	180,047	7,442	3,247,973	△823,600	2,424,373

(注) 1. セグメント利益の調整額△823,600千円には、セグメント間取引消去△134千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△823,466千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	16,082,321	4,113,403	266,664	17,630	20,480,020	—	20,480,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,826	13,077	5,640	—	25,543	△25,543	—
計	16,089,147	4,126,480	272,304	17,630	20,505,564	△25,543	20,480,020
セグメント利益	3,173,585	323,036	192,255	5,984	3,694,861	△771,127	2,923,734

(注) 1. セグメント利益の調整額△771,127千円には、セグメント間取引消去259千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△771,386千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社の事業区分の見直しを行い、「防災」及び「繊維」としていた報告セグメントを「防災」に集約しております。

この変更により、当該子会社の報告セグメントに配分していない全社費用等についても「防災」に集約しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。